

# ハンドボール

No. 39

Japan  
Handball  
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	地区大会

<input type="checkbox"/>	成年男子
<input type="checkbox"/>	成年女子
<input type="checkbox"/>	少年男子
<input type="checkbox"/>	少年女子

試合 番号	サ
----------	---

年月日	2018 年 9 月 14 日 (金)
大会名	第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018

## 公式記録用紙

A										大阪府										熊本県										B	
都道府県 福井県					市町村 永平寺町					会場 北陸電力福井体育館フレアBコート										回戦 2回戦											
前半		A	B	最終 結果		A	B	第1 延長		A	B	第2 延長		A	B	7mTC		A	B												
7mT得点/総数		A 3/4		チームタイムアウト			B 0/1			7mT得点/総数																					
		1	2	後3		06:36				1		2	3																		

No.	大阪府	G	W	2'	2"	D	DR	No.	熊本県	G	W	2'	2"	D	DR
1	泉 幸歩							1	宮川 裕美						
2	森 優稀	1						2	相澤 莉乃	1					
3	水田 亜莉沙	2						3	石井 優花	3					
4	三原 綺乃							4	松尾 祐依	4		1	1		
5	川崎 美穂	1	1					5	勝連 智恵	6					
6	永塚 梓	5	1					6	尾崎 佳奈	2					
7	藤井 紫緒	5						7	吉田 起子	7					
8	田中 美音子	4						8	川俣 ゆかり	1					
9	平田 ほか	1						9	永田 じおり	4	1	1			
10	古川 麻衣子							10	小館 美紀	1					
11	備間 晴香							11	福井 亜由美			1			
12	齋藤 佳織							12	白石 さと						
役員A	中村 博幸							役員A	岡崎 恭代						
役員B	緒方 嗣雄							役員B	黄 慶泳						
役員C	花野 相三							役員C	水野 裕紀						
役員D	中久保 裕美							役員D	松原 淳一						

A	チーム役員A署名	B
特記事項		

レフェリー	仲野 数也	藤坂 明雄		
T.D.	行田 潤	大平 忠一		
JHAオフィシャル				

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

# ハンドボール

No. 38

第73回国民体育大会 平成30年度「福井しあわせ元気」国体

## 試合結果・戦評報告書

競技日	H30. 9 / 13日(木) 14(金) 15(土)・16(日)・17(月)			試合番号	D-サ
会場 コート	A	福井県営体育館	種別	成年	少年
	B	福井市体育館	性別	男子	女子
	C	北陸電力福井体育館フレアAコート	回戦	一回戦	二回戦
	D	北陸電力福井体育館フレアBコート		準々決勝	準決勝
	E	永平寺緑の村ふれあいセンター		3位決定戦	決勝
Aチーム名			Bチーム名		
大阪府			熊本県		
得点合計	小計		小計		得点合計
19	9	前半	13	29	
	10	後半	16		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
	7mTC				

### 戦評

大会2日目。成年女子2回戦第4試合。愛知県と熱戦を繰り広げ勝ち上がってきた大阪府とJHLに所属するオムロンで構成する熊本県の試合は、熊本県スローオフで開始された。先制したのは熊本県。②相澤のサイドシュートに始まり、⑤勝連、③石井と連取し、引き離しにかかる。大阪も⑥永塚が得点し反撃を試みるも、熊本④松尾からの三連取により9分で6対1と熊本ペースで試合が進んだ。10分大阪⑥永塚が連取し、一旦6対3まで差を縮めたが、熊本④松尾、⑤勝連、⑦吉田の活躍によりその差は埋まらず、20分で10対6と熊本がリードを保った。熊本の堅い守りに対し、大阪もクロスを多用して崩そうと試みるが阻まれ、対する熊本も大阪キーパー①泉の再三に渡る好セーブによりなかなか点を重ねることができず、拮抗した展開が続き前半は13対9と4点差のまま熊本リードで折り返した。

後半に入り、大阪⑧田中が先制するも、熊本も⑦吉田、⑤勝連が得点し突き放す。後半3分熊本④松尾がこのゲーム2回目の退場となり大阪が数的に有利となったが差を縮めることができず、反対に熊本③石井、⑨永田のポストシュート、⑤勝連が得点し、後半10分で19対11と熊本がさらにリードを上げた。後半16分23対11と熊本リード、大阪も必死のDFで食い下がるも、一瞬の隙を突き熊本⑩小館がカットインで得点し、このゲーム最大となる13点差がついた。このまま熊本の圧勝かと思ったが、大阪①泉のファインセーブからリズムに乗った大阪が⑥永塚のシュートを皮切りに7連取し追い上げを図る。しかし、熊本も⑦吉田、⑤勝連、⑨永田が三連取して、追いつくことまでには至らなかった。その後は、自力に勝る熊本がさらに点を重ね29対19で勝利し、準々決勝に駒を進めた。

記載者氏名	山口 功治
送信日時	月 日 ( ) :
送信者署名	